

1 カブトガニに関する事業

| | |
|-----------|--------------------|
| 実施事業 | カブトガニ保護活動事業（生涯学習課） |
| 総事業費 | 1,160,435円 |
| ふるさと納税充当額 | 1,160,435円 |

カブトガニ博物館では、カブトガニの保護のため、市民とともに、保護啓発運動等を行い、広く周知を行うとともに、保護監視員を任命し、定期的に海岸のパトロールを実施し、繁殖地内に入浜している方に、保護の大切さを伝え、浜から退去していただいています。

また、漁業協同組合の協力を得て、漁師の網にかかったカブトガニを保護し、一定期間観察をおこなった後、海に放流しています。そして、公募による参加者と一緒にカブトガニの幼生を海に放流しています。

令和2年度は220匹のカブトガニが野外調査で確認できています。

今後も、笠岡のカブトガニが繁殖地内で定着して、棲息数が回復するよう、保護と増殖の活動を続けて行きます。

※令和2年度のカブトガニ保護啓発運動は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止しています。



天然記念物 カブトガニ繁殖地の干潟とカブトガニ

| | |
|-----------|----------------|
| 実施事業 | 博物館運営事業（生涯学習課） |
| 総事業費 | 29,960,892円 |
| ふるさと納税充当額 | 21,753,765円 |

カブトガニ博物館を適切にかつ効率的に管理運営していくため、入館者の方からの意見やアンケート結果をなるべく反映させるように努めました。

また、企画展では夏休み期間中は特別展示の規模を縮小して、笠岡の川の生き物を展示したり、冬の特別陳列では、「The Shell」展として、世界の貝から、地元笠岡や瀬戸内海の貝までを一同に集めて展示しました。生き物の魅力を子供たちにも分かりやすく解説する工夫と手法を取り入れました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、年度当初は臨時休館せざるを得なくなりました。

各種行事、イベントなども中止となる中、入館者の方の安全を第一に考えて、アルコール消毒や検温、常時換気に加えて、多客時には館内で3密とならぬよう、入館人数の制限も導入しながら運営を行いました。

今後も、新型コロナウイルス対策に注意を払いつつ、笠岡のカブトガニと国指定の天然記念物であるカブトガニ繁殖地を博物館を通して、広く普及させる取り組みを続けて行きたいと思っております。



| | |
|-----------|--------------|
| 実施事業 | 博物館行事（生涯学習課） |
| 総事業費 | 19,800円 |
| ふるさと納税充当額 | 19,800円 |

新型コロナウイルス感染防止のため予定していた行事の大半が中止となりましたが、アルコール消毒や検温，マスク着用をお願いをするなど，感染対策に最大限の注意を払いながら，規模を縮小して次の事業を実施しました。今後もカブトガニ博物館らしい魅力的な体験ができるよう，行事を企画して参ります。

主な行事

- ・ 幼生放流 7月18日・8月1日
- ・ 海辺のハーバリウム 8月29日
- ・ 笠岡ミニアクアリウム 8月1日～9月30日
- ・ 恐竜公園ミニコンサート 9月26日
- ・ 博物館収蔵庫見学ツアー 10月24日
- ・ 折り紙DEカブトガニ 11月14日
- ・ ナイトミュージアム 12月19日
- ・ 幼生脱皮殻を使ったアクセサリ作り 1月31日
- ・ 貝殻フォトスタンド 2月20日
- ・ 特別陳列展 2月2日～4月4日
- ・ 星を観る会 3月21日



カブトガニの幼生放流（一般参加）

| | |
|-----------|----------------|
| 実施事業 | 博物館修繕事業（生涯学習課） |
| 総事業費 | 3,462,404円 |
| ふるさと納税充当額 | 3,066,000円 |

1. フリーwi-fi 整備工事

カブトガニ博物館の利用者の利便性向上を図り、快適に情報が入手できる通信環境を確保し、博物館の一層の発展を図るため、無料Wi-Fiアクセスポイントを設置しました。これにより、スマートフォン等での博物館の展示の確認や各種イベント、観光情報へのアクセスが容易になっております。

2. 屋外展示恐竜模型修繕

恐竜公園の恐竜模型は、屋外展示のため、劣化しやすく、外部塗装・補修等を年次的に行っています。令和2年度では、恐竜公園の中心付近に位置する、イグアノドンの改修を行いました。設置当時の生き生きとした、恐竜模型がよみがえりつつあります。（恐竜模型7種8体）

3. 館内展示床増床工事

博物館では、寄贈・購入により展示物が次第に増えており、展示の充実を図るため2階に上がるスロープの途中の展示床の増設工事を実施しました。これにより、パキリゾタスなどの大型の古代魚の骨格レプリカ標本などを新たに展示公開することができました。

今後も、入館者の方の利便性の向上と魅力的な博物館となるため、館内外の施設や設備、展示物などが、適切に管理と更新が出来るよう努めて参ります。